

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 10-254957

(43) Date of publication of application : 25.09.1998

(51) Int. Cl.

G06F 17/60

G06F 17/30

(21) Application number : 09-053315

(71) Applicant : HITACHI LTD

(22) Date of filing : 07. 03. 1997

(72) Inventor : YAMAUCHI TOMOMI
ITO TAMOTSU

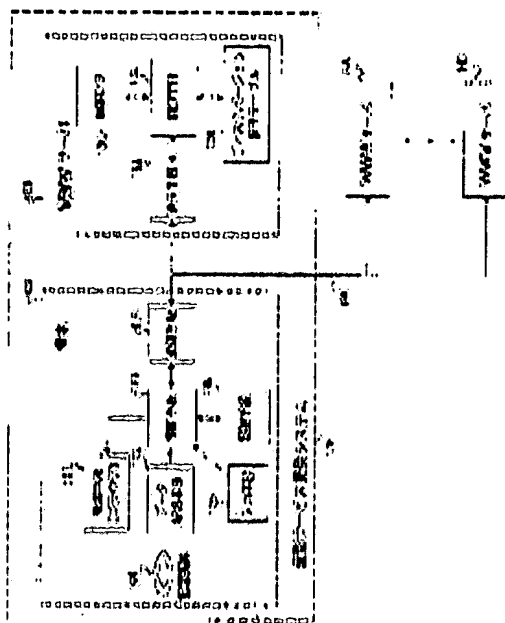
ITO TAMOTSU

(54) INDIVIDUAL SERVICE PROVIDING SYSTEM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To save labor for a user to input information such as a name, telephone number and address every time in catalog shopping using a WWW.

SOLUTION: Concerning an individual information providing system 100 composed of a terminal 102 having a display means 111, an input means 115, a control means 113, a storage means 116 and a communication means 114 and a WWW server 103 having a communication means 121, control means 122 and client data base 124, the terminal side control means 113 transmits various kinds of information (such as the name, telephone number and address) concerning the user inputted by the input means 115 to the side of the WWW server 103 while using the terminal side communication means 116 and stores these various kinds of information in the terminal side storage means 116 and when any arbitrary WWW server 103 requests the terminal 102 to transmit various information concerning the user, after the next time, not the new input from the user but the data stored in the terminal side storage means 106 are used.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-254957

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月25日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 3 0

17/30

15/40

3 1 0 F

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平9-53315

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月7日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 山内 伴美

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株

式会社日立製作所マルチメディアシステム

開発本部内

(72) 発明者 伊藤 保

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株

式会社日立製作所マルチメディアシステム

開発本部内

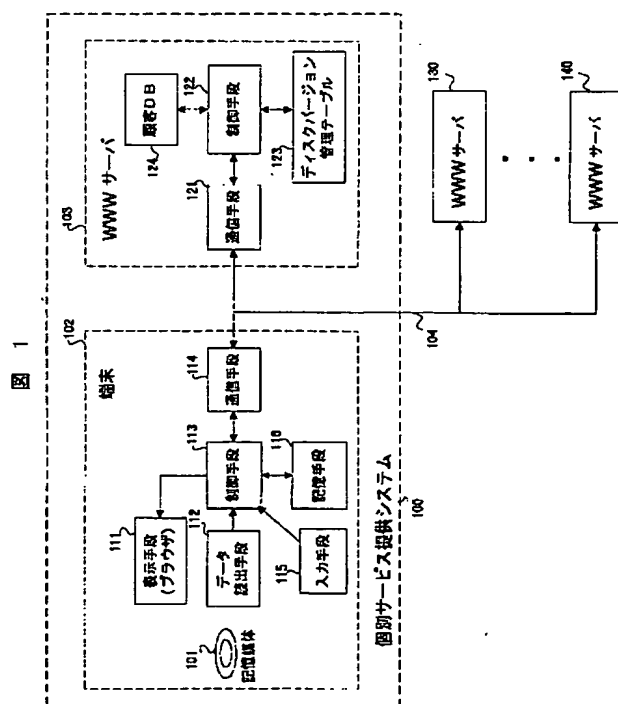
(74) 代理人 弁理士 武 顕次郎

(54) 【発明の名称】 個別サービス提供システム

(57) 【要約】

【課題】 WWWを用いたカタログショッピングにおいて、ユーザが氏名、電話、住所等の情報を毎回入力する手間を省くこと。

【解決手段】 表示手段、入力手段、制御手段、記憶手段、通信手段をもつ端末と、通信手段、制御手段、顧客データベースをもつWWWサーバとで構成される個別情報提供システムにおいて、端末側制御手段は、入力手段により入力されたユーザに関する諸情報（氏名、電話、住所等）を、端末側通信手段を用いてWWWサーバ側に送信すると共に、この諸情報を端末側記憶手段に格納し、次回以降、任意のWWWサーバが、端末にユーザに関する諸情報送信を要求する際には、ユーザからの新たな入力でなく、端末側記憶手段に格納したデータを用いる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 端末とサーバとからなる個別データ提供システムにおいて、

上記端末は、

ユーザによる入力を検出する入力手段と、

上記サーバとの送受信に用いる通信手段と、

該通信手段の受信したデータおよび上記入力手段からの入力データを格納する記憶手段と、

該記憶手段に格納されたデータおよび上記通信手段の受信したデータおよび上記入力手段からの入力データを元に、データを生成する制御手段と、

該制御手段の生成したデータを表示する表示手段とを備え、

また、上記サーバは、

上記端末との送受信に用いる通信手段と、

顧客のユーザID、氏名、住所、電話番号、利用履歴等のデータを管理する顧客データベースと、

上記通信手段の受信したデータおよび上記顧客データベースの内容を元に、上記端末に送信するデータを作成する制御手段とを備え、

上記端末側制御手段は、上記表示手段に上記端末側通信手段の受信したデータを表示し、上記表示手段に表示されたデータを参照した結果ユーザが上記入力手段を用いて入力したデータを、上記記憶手段に格納すると共に上記端末側通信手段を介して上記サーバに送信し、

上記サーバ側制御手段は、上記サーバ側通信手段が受信したデータおよび上記顧客データベースの内容を元に、上記端末に送信するデータを生成する、ことを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項2】 端末とサーバとからなる個別データ提供システムにおいて、

上記端末は、

ユーザによる入力を検出する入力手段と、

上記サーバとの送受信に用いる通信手段と、

該通信手段の受信したデータおよび上記入力手段からの入力データを格納する記憶手段と、

該記憶手段に格納されたデータおよび上記通信手段の受信したデータおよび上記入力手段からの入力データを元に、データを生成する制御手段と、

該制御手段の生成したデータを表示する表示手段とを備え、

また、上記サーバは、

上記端末との送受信に用いる通信手段と、

記憶媒体のバージョン、および、そのバージョンの記憶媒体に格納された内容を管理するディスクバージョン管理テーブルと、

上記通信手段の受信したデータおよび上記ディスクバージョン管理テーブルの内容を元に、上記端末に送信するデータを作成する制御手段とを備え、

上記端末側制御手段は、上記表示手段に上記端末側通信

2

手段の受信したデータを表示し、上記表示手段に表示されたデータを参照した結果ユーザが上記入力手段を用いて入力したデータを、上記記憶手段に格納すると共に上記端末側通信手段を介して上記サーバに送信し、

上記サーバ側制御手段は、上記サーバ側通信手段が受信したデータおよび上記前記ディスクバージョン管理テーブルの内容を元に、上記端末に送信するデータを生成することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項3】 請求項1または2記載において、

前記端末は、さらに、データ読出手段を備え、

前記表示手段に表示するデータとしては、前記端末側通信手段の受信したデータ、または、上記データ読出手段の読み出したデータのうち、少なくとも1つを用いることを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項4】 請求項3記載において、

前記データ読出手段の読み出すデータとしては、CD-ROM、DVD-ROM等の光ディスク、または、磁気ディスク等のディスク記憶媒体に格納されたデータを用いることを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項5】 請求項4記載において、

前記端末は、前記サーバに接続する際に、参照中の前記記憶媒体のディスクIDを前記サーバに送信することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項6】 請求項4記載において、

前記サーバは、前記端末と接続する際に、参照中の前記記憶媒体のディスクIDを前記端末に要求することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項7】 請求項1記載において、

前記端末は、前記サーバに接続する際に、顧客毎にユニークなユーザIDを前記サーバに送信することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項8】 請求項1記載において、

前記サーバは、前記端末と接続する際に、顧客毎にユニークなユーザIDを前記端末に要求することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項9】 請求項1記載において、

前記端末は、前記顧客データベースに記憶したデータの中から、自分のユーザIDに対応するデータを、前記端末側記憶手段にもさらに格納し、

他のサーバから要求があった際に、前記端末側記憶手段に格納されたデータのうち、要求に対応したデータを返信することを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項10】 請求項9記載において、

前記端末側制御手段は、前記端末側記憶手段に格納した自分のユーザIDに対応するデータである「名前」、

「住所」等のプライバシーに関する情報に対して、サーバから要求があった際に、マスクをかけて提供する機能をさらに備えたことを特徴とする個別サービス提供システム。

【請求項11】 請求項2記載において、

3

前記ディスクバージョン管理テーブルとしては、

「ディスクID」、「商品ID」等のデータと共に、ディスクに格納された商品をまだ取り扱っているか、いなかを示す「購入期限」データを含むことを特徴とする個別サービス提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、World Wide Web（以下、WWWと称す）でのカタログショッピングに用いて好適な個別サービス提供システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】WWWでのカタログショッピングにおいては、家庭に居ながらにして様々な商品を購入出来るということで、三菱商事油脂部ホームショッピング等、各種オンラインショッピングが普及している。また、現状の通信レート（128Kbps程度）では、動画、高精細静止画、音楽等のダウンロードには時間がかかるということで、沖電気工業株式会社が「96データショウにて試作品を展示した「電子カタログ」や、松下電器株式会社による「DVD・インターネット連携システム」等の、パッケージメディアと通信を融合したカタログショッピングも各種提案されている。「DVD・インターネット連携システム」においては、端末がディスクIDを識別したり、サーバ側にユーザの登録情報を事前に登録しておくことにより、ユーザ毎に個別の情報を提供することも可能である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のWWWでのカタログショッピングにおいては、同一ユーザが、複数のサービス提供者から商品を購入する場合、その都度、氏名、住所、電話番号等の同一情報を、毎回入力しなくてはならないという問題が生じる。

【0004】そこで、本発明の目的は、WWWを用いたカタログショッピングにおいて、ユーザの手間を省くことに有る。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の個別サービス提供システムは、端末とWWWサーバとから構成され、端末は、ユーザによる入力を検出する入力手段と、WWWサーバとの送受信に用いる通信手段と、該通信手段の受信したデータおよび入力手段からの入力データを格納する記憶手段と、該記憶手段に格納されたデータおよび通信手段の受信したデータおよび入力手段からの入力データを元に、データを生成する制御手段と、該制御手段の生成したデータを表示する表示手段とを備え、また、サーバは、端末との送受信に用いる通信手段と、顧客のユーザID、氏名、住所、電話番号、利用履歴等のデータを管理する顧客データベースと、通信手段の受信したデータおよび顧客データベ

4

スの内容を元に、端末に送信するデータを作成する制御手段とを備え、端末側制御手段は、表示手段に端末側通信手段の受信したデータを表示し、表示手段に表示されたデータを参照した結果ユーザが入力手段を用いて入力したデータを、記憶手段に格納すると共に端末側通信手段を介してサーバに送信し、サーバ側制御手段は、サーバ側通信手段が受信したデータおよび顧客データベースの内容を元に、端末に送信するデータを生成する。また、端末は、さらに、端末側記憶手段にも、顧客データベースの中から自分のユーザIDに対応したデータを格納することにより、他のサーバから自分の顧客データベースに相当するデータを要求された場合に、端末側制御手段は、端末側記憶手段に記録された顧客データを返送する。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面を用いて説明する。図1は、本発明の実施の1形態（以下、本実施形態と称す）に係る個別サービス提供システム100の構成を示すブロック図であり、本個別サービス提供システム100は、端末102とWWWサーバ103から構成される。

【0007】端末102は、記憶媒体101と、ユーザが入力を行うための入力手段115と、記憶媒体101からデータを読み出すデータ読出手段112と、WWWサーバ103とのデータ送受信に用いる通信手段114と、データ読出手段112の読み出したデータ、および、通信手段114の受信したデータ、および、入力手段112により入力されたデータを、表示するための表示手段111と、入力手段115により入力されたデータ、および、通信手段114の受信したデータを格納する記憶手段116と、データ読出手段112の読み出したデータ、および、入力手段115により入力されたデータ、および、通信手段114の受信したデータを元に、制御を行う制御手段113と、から構成される。

【0008】また、WWWサーバ103は、端末102とのデータ送受信に用いる通信手段121と、記憶媒体101のバージョン、および、そのバージョンの記憶媒体101に格納した内容を管理するディスクバージョン管理テーブル123と、顧客のユーザID、氏名、住所、電話番号、年齢等を記録する顧客データベース（以下、顧客DBと称す）124と、通信手段121の受信したデータ、および、ディスクバージョン管理テーブル123の内容、および、顧客DB124の内容を元に、端末102に送信するデータを生成する制御手段122と、から構成される。

【0009】そして、端末102側の通信手段114と、WWWサーバ103側の通信手段121とは、通信経路104を介して接続されている。WWWサーバ103は、通信手段121により、通信経路104を介して、図示した端末102以外にも、複数の端末に接続し

ている。また、端末102は、通信手段114により、通信経路104を介して、WWWサーバ103以外の他のWWWサーバ130、140等に接続可能とされている。

【0010】ここで、本実施形態では、記憶媒体101としてはCD-ROM（以下、ディスク101と称す）を想定しており、端末102側の通信手段114と、WWWサーバ103側の通信手段121間の通信経路104としては、電話回線を想定している。また、上記のディスク101（もしくはディスク101内のデータ）の配布方法としては、カタログショッピングの会員への送付、コンビニ、書店等での販売、インターネットを介しての販売等を想定している。

【0011】以下、図2～図8を用いて、WWWサーバ103が端末102に、ディスクIDや、顧客IDに応じたサービスを提供する手順を説明する。図2は、WWWサーバ103が、ディスクIDに対応した個別サービスを提供する推移を示したフローチャートである。まず、ディスクIDに対応した個別サービスを提供手順を、図2を用いて説明する。

【0012】ユーザが、ディスク101を端末102のディスクドライブに挿入すると（ステップ201）、端末102の制御手段113は、データ読出手段112を介してディスク101の挿入を感知し、表示手段111上に、ユーザにディスクID入力を促す“ディスクID入力画面”を表示する（202）。

【0013】制御手段113は、ユーザが入力したディスクIDを、通信手段114を介してWWWサーバ103に送信する（ステップ203）。

【0014】WWWサーバ103においては、側通信手段121がディスクIDを受信すると、制御手段122は、取得したディスクIDとディスクバージョン管理テーブル123の内容を参照して、ディスク101のバージョンが新しいかどうかをチェックする（ステップ204）。この時点で、ディスクを持っていないユーザが、URL（Uniform Resources Locator）指定のみでアクセスしてきた場合には、ディスクが必要であることや、ディスクの入手方法（コンビニ等で購入、郵送による入手、通信経由のダウンロード、……）等を伝えるメッセージを返信する。

【0015】ディスク101のバージョンが古い場合には、WWWサーバ103側の制御手段122は、新しいバージョンのディスクがある旨を伝える画面を、端末102に送信する（ステップ205）。

【0016】次に、ユーザは、ディスク101内に格納された動画、静止画、テキスト、音声等形式の商品情報を参照し（ステップ206）、ディスク101内の商品説明を参照して購入する商品を決定したら（ステップ207）、購入決定ボタンを押して、まだ取り扱っている商品であるか確認をする（ステップ208）。

【0017】WWWサーバ103は、ディスクバージョン管理テーブル123の内容を参照して、まだその商品を取り扱っているようであれば、端末102に、商品購入手続きの画面を送信する（ステップ209）。他方、ユーザの所望する商品が、期限切れであった場合には、WWWサーバ103は、代替品に当たる新商品を紹介する画面を端末に送信する（ステップ210）。

【0018】同様の手順で、ユーザは、ディスク101に格納された商品情報の参照を終了したくなるまで（ステップ211）、ディスク101のブラウジングを続ける（ステップ206～ステップ211）。

【0019】図3は、端末102の表示手段111上に表示された画面例を示す図であり、図3の上側は、前記ディスクID入力画面の1例を示す図である。図3に示したディスクID入力画面300は、例えばディスク101が、A社の運営している“カタログショッピングワールド”と名づけられた通信販売サービスの提供する“カタログショッピングCD”というディスクである場合を示しており、この場合の画面は、「ようこそ A社のカタログショッピングワールドへ」とユーザをもてなすメッセージと、「お手持ちのカタログショッピングCD（以下、カタログCDと称す）のディスクIDを入力して下さい」というユーザにディスクID入力を促すメッセージと、ディスクID入力用フィールド301と、ディスクID入力確認ボタン（「OK」ボタン）302と、カーソル303等とで構成される。

【0020】ここで、本実施形態では、入力手段115として、カーソル制御用の十字キーおよび数字入力用のテンキーを備えたリモコンを想定している。ユーザは、十字キーを用いて、カーソル303をディスクID入力フィールド301に合わせて、数字キーを用いて、ディスクIDとして例えば“007004”を入力し、正確な入力を確認した後に「OK」ボタン302を押すと、端末102側の制御手段113はユーザの入力したディスクIDを、通信手段114を用いてWWWサーバ103へ送信する。

【0021】これによって、WWWサーバ103側の制御手段122は、通信手段121が端末102から受信したディスクIDを記憶手段に格納すると共に、ディスクバージョン管理テーブル123の内容を参照して、バージョンが古い場合には、図3の下側に示す最新号送付依頼メニュー画面310を端末102に送信する。この画面310は、例えば、「カタログCDの最新号が出ました!」という見出しタイトルと、「現在ご覧のカタログCDは、バージョンが古いようです。最新号をご希望の方は、“送付希望”ボタンをクリックして下さい。」という、ユーザ手持ちのディスクが古い旨を伝えるメッセージと、「送付希望」ボタン311と、「次画面へ進む」ボタン312と、「最新号ダイジェスト」ボタン313等とで構成される。

【0022】ユーザが最新号送付を希望する場合には、ユーザが、最新号送付依頼メニュー画面310で「送付希望」ボタン311を選択することにより、画面は、最新号カタログCD送付手続きを行う画面へ推移する。また、ユーザが、最新号送付依頼メニュー画面310で「次画面へ進む」ボタン312を選択すると、画面は、商品紹介の画面へ推移する。また、ユーザが、最新号送付依頼メニュー画面310で「最新号ダイジェスト」ボタン313を選択すると、画面は、最新号のダイジェストを紹介する画面へ推移する。

【0023】最新号カタログCD送付手続き、または、最新号のダイジェスト紹介画面の参照が終了すると、画面は、商品を紹介する画面に推移する。

【0024】次に、図4を用いて商品を紹介するページを説明する。図4は、端末102の表示手段111上に表示された商品紹介ページの1例を示す図で、同図に示す商品紹介ページ400は、リビングルーム用雑貨を紹介するコーナーの、クッションを紹介するページである。商品紹介ページ400中の401、402はクッションの写真で、それぞれストライプ柄、花柄のクッションが写っている。ユーザは、写真を参照して、商品を購入する場合には、「購入手続き」ボタン403、404を選択する。このページの商品は購入せず、他のページのクッションを参照する場合には、「前画面に戻る」ボタン405、もしくは「次画面に進む」ボタン407を選択してブラウジングを続ける。また、リビング用品のメニュー画面に戻りたい場合には、「リビング用品メニュー」ボタン406を選択する。

【0025】図5に、WWWサーバ103が持つディスクバージョン管理テーブルの1例を示す。501はディスクバージョン管理テーブルであり、ここでは、「ディスクID」511と、「商品番号」512と、「商品名」513と、「購入期限」514と、「処理」515とから構成されている。

【0026】「ディスクID」511は6桁で構成されており、上位の3桁は、カタログCDのシリーズを示している。図5中に502で示すのは、ディスクIDの上位3桁の参照テーブルであり、この参照テーブル502に示されるように、「ディスクID」511の上位3桁が“001”の場合には「車シリーズ」であり、上位3桁が“002”の場合には「旅行案内シリーズ」であり、上位3桁が“007”の場合には「インテリアシリーズ」である。そこで、ユーザの入力した前記したディスクID“007004”は、上位の3桁が“007”なので、これは、インテリアシリーズのカタログCDであることがわかる。

【0027】また、「ディスクID」511の下位の3桁は、シリーズのうち、発行されて何号目かを示す情報となっており、図5に示したディスクバージョン管理テーブル501の例においては、インテリアシリーズのカ

タログは、現在5号目まで発行されていることがわかる。なお、例えば3枚組CD等の場合でも、1枚目から3枚目まで、それぞれ固有の番号（ディスクID）を割り付ける。

【0028】インテリアシリーズは、5号目まで発行されているのに対して、ユーザの入力したディスクIDは前記した“007004”なので、これにより、ユーザ手持ちのインテリアカタログはバージョンが“4”の4号目で、ユーザの手持ちのインテリアカタログは、バージョンが古いということが分かるので、この場合には、先に述べたように、WWWサーバ103側の制御手段122は、最新号送付依頼メニュー画面310を端末102側に送信する。

【0029】「商品番号」512は、カタログCDに格納してある商品の通し番号を指す。例えば、「商品番号」512の“0128”から、花柄のクッションは、インテリアシリーズにおける4号目のカタログCDに格納され、商品番号128番目の商品であるということがわかる。

【0030】「購入期限」514は、その商品を取り扱っているかどうかを示す情報であり、その商品を取り扱っている場合には「○」で表され、取り扱っていない場合には「×」で表されている。図5に示した例では、例えば、ストライプのクッションは、まだ取り扱っているが、花柄のクッションは、もう購入期限を過ぎていて、取り扱っていないということになる。

【0031】ユーザが、ディスク101をブラウジングして、取り扱っている商品、例えば、図4の前記した商品紹介ページ400において、ストライプ柄クッションに対して「購入手続」ボタン403を押すと、WWWサーバ103から購入手続き画面が送信される。一方、既に販売期限を超過し取り扱っていない商品、例えば、図4の前記した商品紹介ページ400において、花柄クッションに対して「購入手続」ボタン404を押した場合には、WWWサーバ103は、代替品にあたる新商品を紹介する代替品紹介ページの画面を、通信手段121を介して端末102に送信する。

【0032】図6は、端末102の表示手段111上に表示された代替品紹介ページの1例を示す図であり、上記した花柄クッションの代替品紹介ページ600の例である。図6に示す代替品紹介ページ600中において、602は、ユーザが購入しようとした商品を示す写真で、604は、602の代わりに現在取り扱っている新商品の写真である。また、601は、602の商品は既に購入期限を過ぎていていることを説明するメッセージで、603は、代替品として取り扱っている商品603を紹介するメッセージである。

【0033】ユーザは、代替品で構わない場合には、代替品紹介ページ600において、「購入手続き」ボタン605を選択して、購入手続き画面へ進み、代替品は購

10

20

30

40

50

入しない場合には、「戻る」ボタン606を選択して、図4の前記した商品紹介ページ400へ戻る。

【0034】次に、商品購入の手順を、図7を用いて説明する。図7の上側は、端末102の表示手段111上に表示されたユーザID入力画面の1例である。商品を購入する場合には、ユーザは、図7に示すユーザID入力画面700において、ユーザID入力フィールド701へ、入力手段115を用いてユーザIDを入力し、入力したユーザIDを確認した後、「OK」ボタン702を選択する。なお、この際、未登録でユーザIDを持っていないユーザの場合には、「会員登録」ボタン703を選択して、図示せぬユーザ登録画面に進むようになっている。

【0035】ユーザが、ユーザID入力画面700のユーザID入力フィールド701に、ユーザIDとして例えば「680904」を入力すると、端末102側の制御手段113は、入力手段115から入力されたユーザIDを、通信手段114を介して、WWWサーバ103に送信する。これによって、WWWサーバ103側の制御手段122は、前記顧客DB124の内容を参照して、購入手続き画面を作成し、これを通信手段121を介して、端末102へ返送する。

【0036】図8に、WWWサーバ103が持つ顧客DBの1例を示す。図8において、801は顧客DBであり、この顧客DB801は、「ユーザID」811と、「名前(氏名)」812と、「電話(電話番号)」813と、「住所」814とから構成されている。

【0037】図8に示した顧客DB801から、例えば、受信した前記ユーザID「680904」に対応する顧客データは、名前が「〇〇〇〇〇〇」で、電話番号が「03-****-****」で、住所が「〒10*東京都**区**1-2-3」であることがわかる。

【0038】本実施形態においては、上記のユーザ毎にユニークな顧客DBの内容(ここでは、ユーザID、名前(氏名)、電話番号、住所等の各データ内容)は、端末102側(ユーザ側)の記憶手段116にも格納されている。

【0039】なお、本実施形態においては、社内で同一のCDカタログを回覧する場合や、映像情報をPay Per View方式で提供する場合も想定しており、1つのCDカタログに対し1人分の顧客DBのみを1対1で管理するのではなく、上記のようにユーザIDを設けることによって、1つのCDカタログに対して複数ユーザの顧客DB管理を行なうことが可能となっている。

【0040】図7の下側は、端末102の表示手段111上に表示された、端末102がWWWサーバ103から受信した購入手続き画面の1例であり、ここでは、図7の上側の前記ユーザID入力画面700に引き続く画面例を示している。

【0041】図7において、710は購入手続き画面で

あり、この購入手続き画面710は、「ユーザID」表示項目711と、「商品名」表示項目712と、「御名前」表示項目713と、「ご住所」表示項目714と、「御電話」表示項目715と、「OK」ボタン716と、ユーザが購入選択した商品を示す写真717等とで構成されている。

【0042】この購入手続き画面710において、ユーザが、内容に不備が無いのを確認した後、「OK」ボタン716を選択すると、この旨が端末102からWWWサーバ103へ通知され、これにより、購入手続きが完了することになる。

【0043】図9は、商品購入時のWWWサーバ103の処理手順を示すフローチャートであり、次に、商品購入時のWWWサーバ103の処理フローを、図9を用いて説明する。

【0044】ユーザが登録済みで、ユーザIDを持っている場合には(ステップ901でYESの場合には)、ユーザの購入手続きを確認すると共に、顧客DB124に格納されたデータを元に、送信されてきたユーザIDに対応するユーザの身元や信用度等を確認した後、購入手続きを完了する。

【0045】ユーザが登録済みでない場合には(ステップ901でNOの場合には)、新規に会員登録手続きを行う。新規会員登録手続きをする場合、WWWサーバ103は、顧客DB124に登録するデータの取得を行う。このため、まずWWWサーバ103は、端末102側の記憶手段116に「名前」情報があらかじめ格納されているか否かを確認し、「名前」情報がない場合には(ステップ902でNOの場合には)、端末102の表示手段111に「名前」情報の入力画面を表示して(ステップ903)、ユーザによって「名前」情報が入力されたことを確認した後、次のステップに進む。

【0046】次に、WWWサーバ103は、端末102側の記憶手段116に「電話」情報があらかじめ格納されているか否かを確認し、「電話」情報がない場合には(ステップ904でNOの場合には)、端末102の表示手段111に「電話」情報の入力画面を表示して(ステップ905)、ユーザによって「電話」情報が入力されたことを確認した後、次のステップに進む。

【0047】以下、同様にして、WWWサーバ103は、端末102側の記憶手段116に「住所」情報等があらかじめ格納されているか否かを確認し、「住所」情報等がない場合には、端末102の表示手段111に「電話」情報の入力画面を表示して、ユーザによって「電話」情報等が入力されたことを確認した後、次のステップに進む。

【0048】そして、最後に、端末102の表示手段111にユーザが入力した諸情報の確認画面を表示して(ステップ906)、ユーザが諸情報の正確な入力を確認し、「OK」ボタンを選択したら、新規会員登録手続

きを終了する。

【0049】上記した新規会員登録手続きの際に入力された名前、電話番号、住所等の各データ内容は、端末102側（ユーザ側）の記憶手段116にも同時に格納され（例えば、WWWサーバ103からの指令によって端末102側がこの格納処理を実行する）、これによって、端末102側もユーザに対応した顧客DBを持つことになり、以後、複数のサーバを利用する際に、毎回氏名、電話、住所等の入力手続きをしなくてはならない手間を省くことが可能となる。したがって、WWWを用いたカタログショッピングにおいて、ユーザの手間を大幅に省くことができ、ユーザにとって使い勝手が向上する。

【0050】なお、上述した実施形態では、通信経路として電話回線を用いたが、光ファイバ、CATV等の有線通信や、携帯電話、放送衛星、通信衛星等の無線通信等を用いてもよい。

【0051】また、上述した実施形態では、ディスクIDを参照してバージョンが古い場合には、新しいカタログCDの郵送サービスをお知らせする画面を表示したが、サーバから、新しいカタログCDの古いバージョンと比較した差分データのみを、適宜の通信手段で送信するようにしてもよい。

【0052】また、上述した実施形態では、顧客DBを構成する名前、電話、住所等の入力方法を特に明記していないが、キーボードや、表示手段に表示した仮想キーボード等の入力手段を用いればよい。

【0053】また、上述した実施形態では、カタログショッピング用の記憶媒体101としてCD-ROMを用いたが、その他の光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスク等のディスク記憶媒体や、ICカード等のその他の記憶媒体を用いてもよく、場合によっては、端末の記憶手段に、通信経路でデータをダウンロードするようにしてもよい。

【0054】また、上述した実施形態では、ユーザの用いる端末を特に明記していないが、パーソナルコンピュータや、インターネットTV、ゲーム機等の端末や、専用端末等を用いることができる。

【0055】また、上述した実施形態では、ディスクIDの取得方法としてユーザによる入力を用いたが、専用端末としてディスクID取得プログラムを備えることにより、端末が自動的にディスクIDを取得したり、また、サーバが、端末に対してディスクID取得プログラムを通信経路で提供して、見掛け上、サーバが自動的にディスクIDを取得するようにしてもよい。

【0056】また、顧客DBにユーザ情報（誕生日、趣味等）や、購入履歴等の情報を設けることにより、以前に購入した商品のバージョンアップのお知らせ等、個別のサービスを提供するようにしてもよい。

【0057】また、上述した実施形態では、端末側の入

力手段として十字キー、テンキーを備えたリモコンを用いたが、その他の機能を備えたリモコンや、またはキーボード、マウス等その他の入力手段を用いてもよい。

【0058】なお、端末側の記憶手段に顧客DBとして格納した「名前」、「電話」、「住所」等のプライベートな情報のうち、他人に伝えたくない情報に対してマスクをかける機能を設けてもよい。

【0059】また、上述した実施形態では、サーバ側に、顧客DBを備えていたが、サーバ側ではデータベース管理を行わずに、必要に応じて端末側の記憶媒体に格納された顧客DBを抽出して用いるようにしてもよい。

【0060】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、WWWを用いたカタログショッピングにおいて、サービスを提供する複数のサーバに対して、ユーザが氏名、電話、住所等の情報を毎回入力する手間を省くことができ、ユーザにとって使い勝手が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、ディスクIDに対応したサービス提供の処理フローを示すフローチャート図である。

【図3】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、端末の表示手段上に表示されたディスクID入力画面の1例、および最新号送付依頼画面の1例を示す説明図である。

【図4】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、端末の表示手段上に表示された商品紹介ページの1例を示す説明図である。

【図5】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、WWWサーバが持つディスクバージョン管理テーブルの1例を示す説明図である。

【図6】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、端末の表示手段上に表示された代替品紹介ページの1例を示す説明図である。

【図7】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、端末の表示手段上に表示されたユーザID入力画面の1例、および購入手続き画面の1例を示す説明図である。

【図8】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、WWWサーバが持つ顧客データベースの1例を示す説明図である。

【図9】本発明の実施の1形態に係る個別サービス提供システムにおける、WWWサーバの購入時の処理フローを示すフローチャート図である。

【符号の説明】

100 個別サービス提供システム

101 記憶媒体（ディスク）

102 端末

10

20

30

40

50

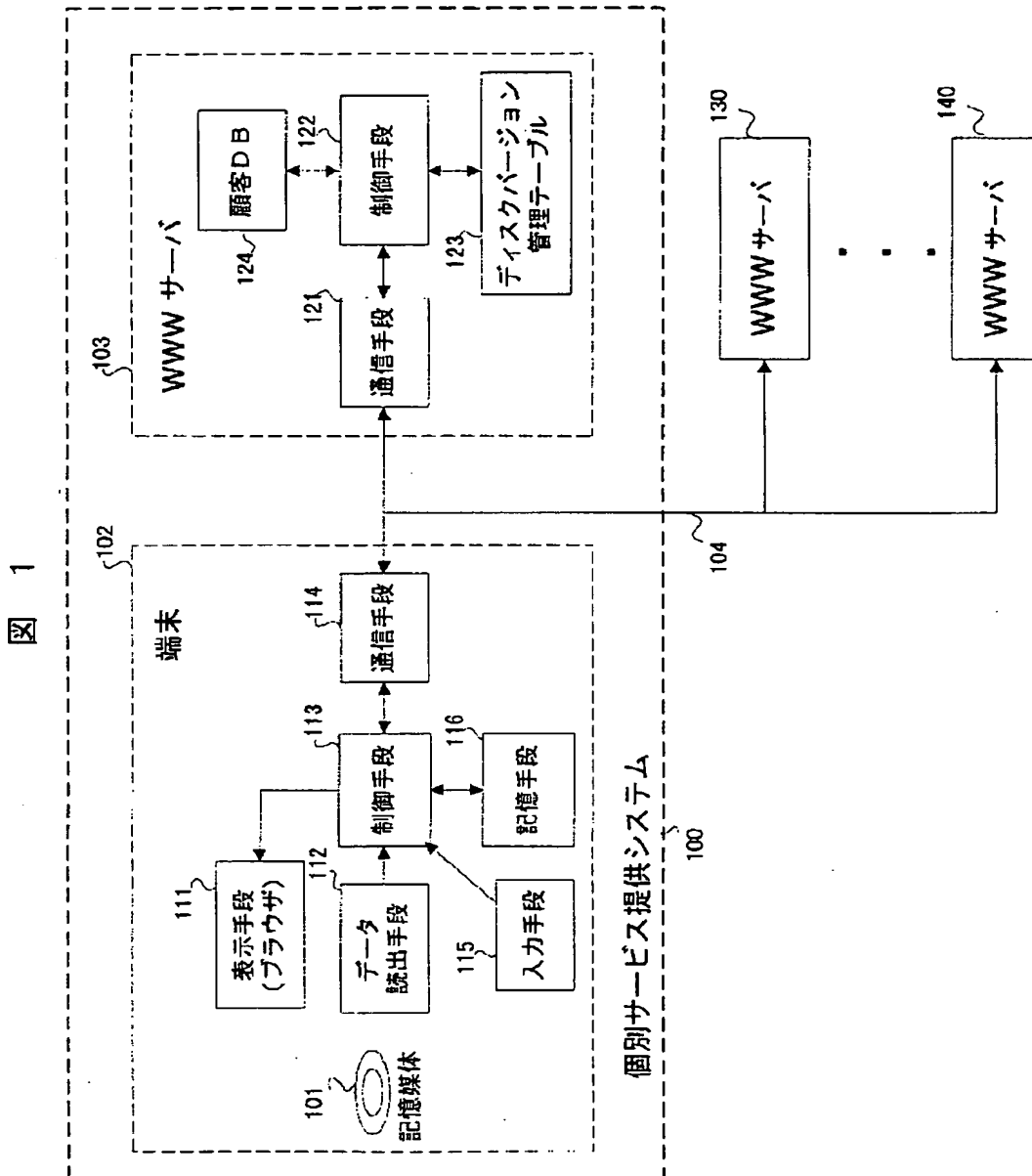
13

14

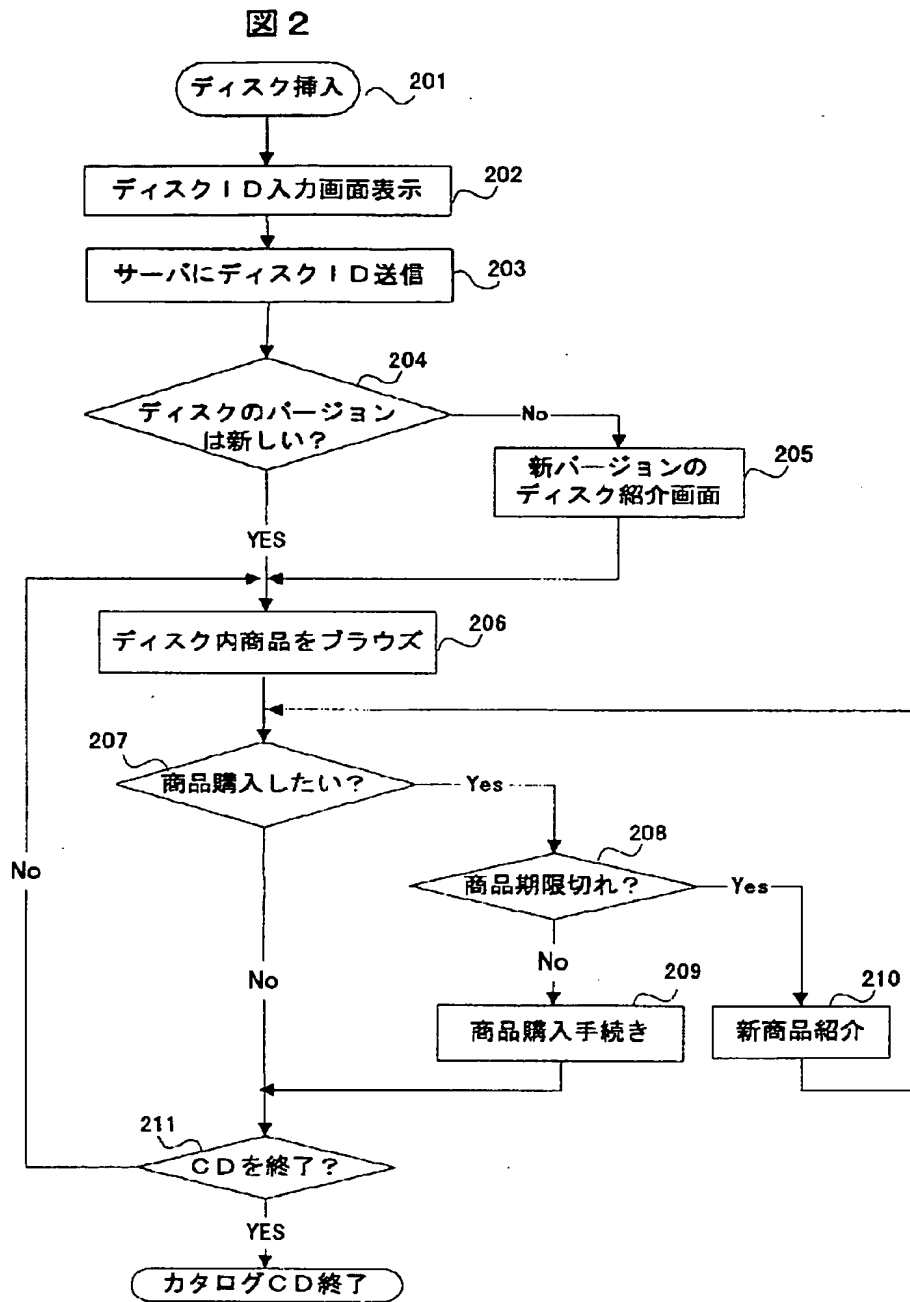
103 World Wide Webサーバ (WWWサーバ)
 104 通信経路
 111 表示手段
 112 データ読出手段
 113 端末側の制御手段
 114 端末側の通信手段
 115 入力手段

116 記憶手段
 121 WWWサーバ側の通信手段
 122 WWWサーバ側の制御手段
 123 ディスクバージョン管理テーブル
 124 顧客データベース (顧客DB)
 130, 140 World Wide Webサーバ (WWWサーバ)

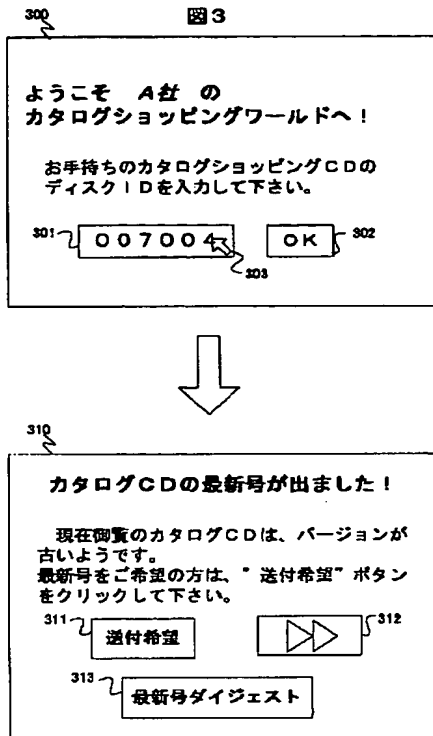
【図1】



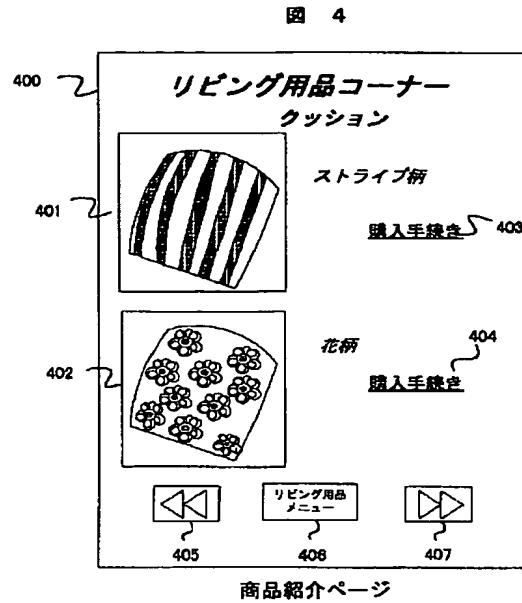
【図2】



【図3】

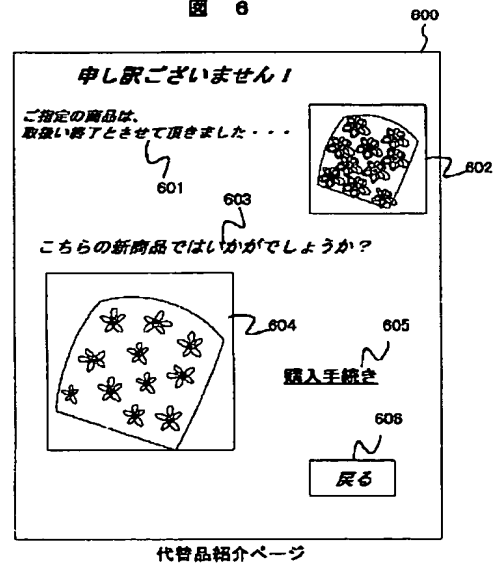


【図4】



【図6】

図 6



【図5】

図5

ディスクID	商品番号	商品名	購入期限	知 照
007 004	0001	レンジ機1	○	購入確認画面
	0002	レンジ機2	○	購入確認画面

	0127	クッション(ストライプ)	○	購入確認画面
	0128	クッション(花柄)	×	新商品の紹介

007 005	0001	レンジ機1	○	購入確認画面
	0002	レンジ機2	○	購入確認画面

シリーズ
001 車
002 旅行案内
.
007 インテリア
.

ディスクバージョン管理テーブル

【図7】

図 7

700 毎度、カタログCDご利用有り難うございます！

ユーザIDをリモコンで入力して下さい。

701 702

ユーザIDを御持ちで無い方は、会員登録を行って下さい。

703



710 下記内容で購入手続きを取らせていただきます。

・ユーザID 711


・商品名 712

・御名前 713

・ご住所 714

・御電話 715

716

717 

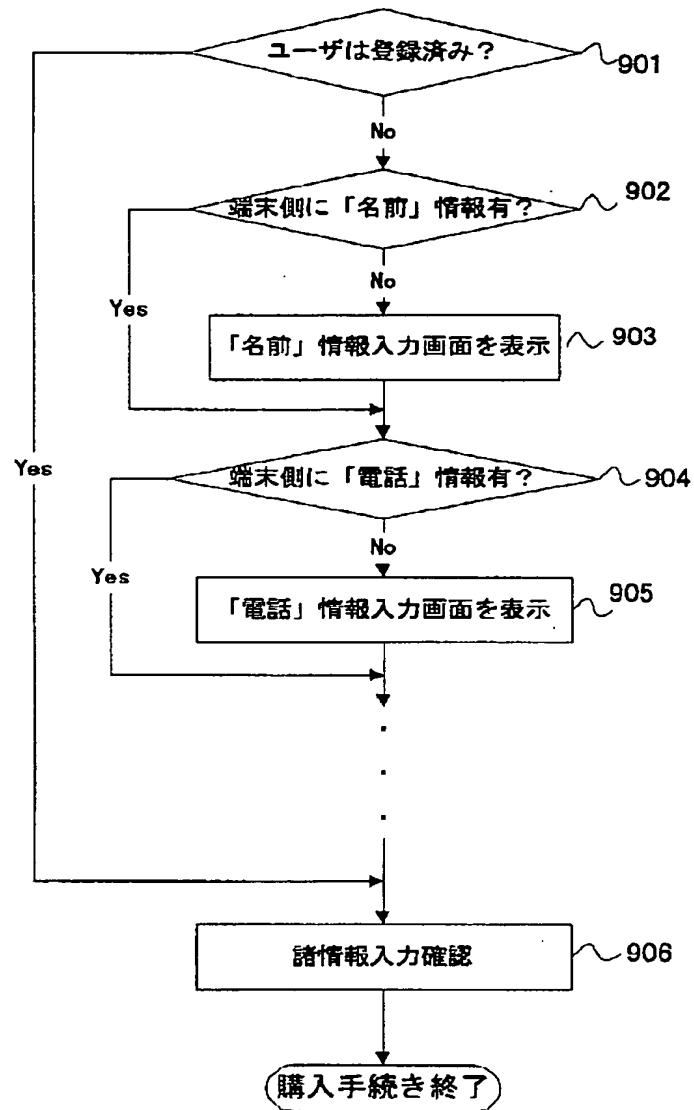
【図8】

ユーザID	名 前	電 話	住 所
680904	OOOOOO	03-※※※※-※※※※	〒10※ 東京都※※区※※ 1-2-3
680905	△△△△△△	045-※※※※-※※※※	〒2※※ 神奈川県※※市※※区※※ 2-7-3
680906	□□□□□□	078-※※※※-※※※※	〒8※※ 兵庫県※※市※※区※※ 4-20-8
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

顧客DB

【図9】

図 9



購入時におけるサーバ側の処理フロー